

第6学年 総合的な学習の時間学習指導案

名古屋市情報教育研究会

1 題材 修学旅行のみりよくを伝えよう

2 本時の指導

(1) 目標

聞き手に何を伝え、どんな思いをもってほしいか、伝える目的を明確にし、聞き手に分かりやすい伝え方について話し合うことができる。

(2) 情報活用能力の育成について

良い例や悪い例を盛り込んだ教師による模擬プレゼンを見せる。そのプレゼンの改善点をグループで話し合い指摘し、その場で教師とともに改修することを通して、より分かりやすい資料の提示の仕方を考えられるようにする。

(3) 準備

教師：タブレット、模擬プレゼン資料

児童：前時まで作成した自分のプレゼン構成案

(4) 指導過程

時間配分	学習活動	指導上の留意点
5分	1 学習課題をつかむ。	○ 聞き手である5年生の立場にたち、資料と話が分かりやすいかをチェックし、改善点を考えることを確認させる。
10分	2 模擬プレゼン資料を見る。	○ プレゼンを見ながら、分かりにくい点や分かりやすい点を資料にメモさせるようにする。
10分	3 グループで改善点について話し合う。	○ 自分たちがメモしたことを伝え合い、どう改善したら分かりやすくなるか話し合わせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価事項</p> <p>模擬プレゼンを見て、聞き手側の立場に立ち、より分かりやすくなるような改善点を考えることができたか。 【資料へのメモ・話し合いの様子・発表】</p> <p>□…改善点まで考えることが困難な児童は、分かりづらい点を発表するようにする。</p> <p>☆…話し方と資料の関連も考慮して、資料の見せ方も考えるよう声掛けをする。</p> </div>		
15分	4 各グループの改善点をもとに模擬プレゼン資料を改善する。	○ 自分たちの改善点により、プレゼン発表がより分かりやすくなることを感じられるようにさせる。
5分	5 振り返りをする。	○ 今回の改善点を自分のプレゼン構成資料と照らし合わせ、次時からのプレゼン資料準備に生かしていけるようにさせる。

※斜体…情報活用能力を育成する学習活動